

夏祭り

8月8日



わっしょい!

わっしょい!

ユーアイホームだより

やまばと

平成27年10月1日
No.23
発行者
社会福祉法人
矢祭福祉会
東白川郡矢祭町
東館字蔵屋敷122
Tel(0247)46-3385
Fax(0247)46-4400

9月8日ユーアイホーム敬老祝賀会が開催されました。やまつりこども園の園児がお祝いに駆けつけ、楽しいふれあいのひと時を過ごすことが出来ました。



敬老祝賀会



理事長より米寿と傘寿を迎える入居者様に花束が贈呈されました。



園児の手作り壁掛け小物入れと、入居者様手作りの折り紙のプレゼント交換が行われました。

地域包括支援センターより

認知症の人を地域で支えましょう!!

超高齢社会を迎え、認知症になる人がどんどん増えてきています。現在 65 歳以上の 4 人に 1 人が認知症とも言われています。それは、日本人の寿命が延びたことに関係しています。なぜなら認知症は年をとればとるほどなりやすい病気だからです。そこで、認知症になっても暮らせるために、みなさんの協力が必要になってきます。これからはさまざまな立場の人たちが協力し合い、認知症になっても住み慣れた場で暮らし続けるための地域ぐるみの支援が不可欠になります。

現在、医療・介護・福祉分野の専門職、そして地域の人びとがつながりを育みながら、認知症の人を共に支えるしくみづくりが進められています。

【問い合わせ先】
矢祭町地域包括支援センター
0247-46-3770
(専用ダイヤル)



☆居宅介護支援事業所より☆

「退院した後の生活が不安だ。」「親の介護が大変で・・・。」ユーアイホーム居宅介護支援事業所では、いつでも皆さまからの介護のご相談に対応いたします。ご遠慮なくケアマネージャーにご連絡ください。

介護に関するご相談は、TEL 46-3389 まで、いつでもお電話ください。

スタッフ募集

- 職 種/介護職、看護職 (資格・経験等考慮いたします。)
 - 勤 務/変則勤務、フルタイム勤務できる方(夜間帯、土日祝日勤務尚可)
- ※詳細は、下記までお気軽にお電話ください。



社会福祉法人矢祭福祉会
特別養護老人ホームユーアイホーム
連絡先 TEL:0247-46-3385
矢祭町大字東館字蔵屋敷 122 番地

編集後記

二度のツバメの巣づくりも終わる季節は秋へと移っていきます。朝晩の温度差も増してきますのでお身体に気をつけてお過ごしください。



平成27年12月、全国の特別養護老人ホームや養護老人ホーム、デイサービスセンターで組織される全国老人福祉施設協議会(全国老施協)が主催する「東北ブロックカントリーミーティング」が福島市において開催されます。

今年度の「東北ブロックカントリーミーティング」は、福島県老施協が担当ということで、私事になりますが実行委員を務めさせていただいております。

「東北ブロックカントリーミーティング」は、東北地方(仙台市 青森県 岩手県 秋田県 宮城県 山形県 福島県)の介護・福祉の現場で活躍し、これからの未来を担うリーダーや管理者が一同に集い、全国老施協および福島県老施協があらかじめ設定した5つの「テーマ」について、実践的・実務的視点から協議検討する研究大会となっております。

この「テーマ」については、全国老施協が今年度の事業計画に掲げる重点課題に基づくもので、すべての高齢者施設が現在あるいは近い将来において、必ず直面する共通の課題といえるものです。

今回のテーマは、概ね次のようになります。

- ① 4月に実施された介護報酬改定の影響を分析し、利用者・家族・職員の介護・福祉を守り、中長期的に地域の安心を構築するビジョンを打ち出すこと。
- ② 地域包括ケアの実現に向けて、医療と介護関係者の協力を促進し、高齢者施設・事業所が地域力の基盤を整え、底上げし、地域福祉の中核的位置づけを担うこと。
- ③ 24時間365日をチームで支える「日本の介護」は、認知症ケアや看取りを含めて高度かつ多様な機能と効果が備わっている。高齢者施設・事業所の取り組みや「日本の誇れる介護」を進化させ、海外も含め多方面にPRすること。
- ④ 新しく市町村ごとに整備される総合事業におけるサービスの展開や実施方法について、多様性と独自性を考えること。
- ⑤ 利用者の生活の質を向上させ、安定した生活を支えるために、口腔ケアおよび栄養管理を促進・充実させていくこと。

これらは、どれをとっても難題・難問といえますが、決して他人事ではありません。

私たち介護・福祉のしごとに従事する者には、直面する課題としっかり向き合い、社会や制度の変化にも迅速かつ適切に対応し、利用者や家族の生活を支え、利用者や家族そして地域の声を真摯に受け止め、介護・福祉の未来を築いていく使命があり、その役割を果たしていかなければならないのです。

今回は、ややスケールの大きい話になりましたが、社会も制度も必ず変化するものです。それに一喜一憂するのではなく、冷静に時流を見極めて柔軟に対処し、利用者と家族の生活を守り、地域と社会の発展に貢献していかなければならないと思います。

8/3 1は近藤先生によるヨガ教室を開催しました。



デイサービスセンター 館山荘

8/28に館山荘夏祭りを行いました。
皆さんでピザを美味しくいただきました。



愛好会イリマによるフラダンスを楽しく見ました!



7月7日 セタ飾り



皆で飾りました

せせらぎ荘だより



8月8日 夏祭り

スイカ割り



くじ引き

佐川春美さんコンサート



給食だより

管理栄養士 菊池



「人間にとっての食の意味」

- ① 飢えをしのご
- ② エネルギー源として摂取する
- ③ 楽しみ・満足感を得る
- ④ 食文化の伝統を継承する
- ⑤ 健康な身体をつくる

人間が生きるために欠くことのできない「食」を通し、利用者一人一人のより良い生活を支えています。



【医務室だより】

秋は、暑い夏で衰えた体力を回復させ、寒い冬に備えて免疫力を高めていく季節です。適度な運動は、心肺機能が高まり、基礎体力や筋力アップにつながります。太陽の光を浴びながら、自然を満喫し、心身ともにリラックスしてはどうでしょうか。

